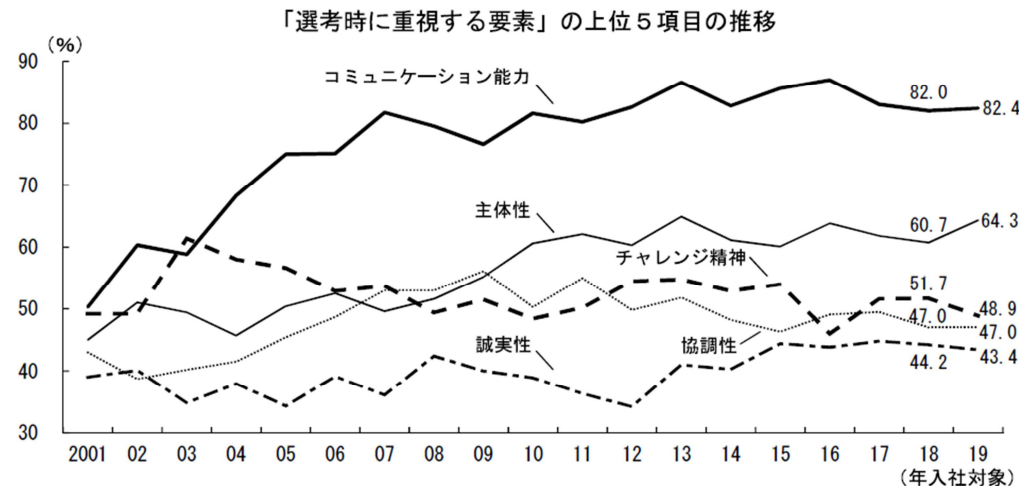


1. 求められる人材

○ 企業が社員採用時に求める資質

資料 1



出典：2018年度 新卒採用に関するアンケート調査結果

2018年11月22日一般社団法人 日本経済団体連合会

○ 意識・行動面を含めた仕事に必要な能力等

56の能力等に対する需要

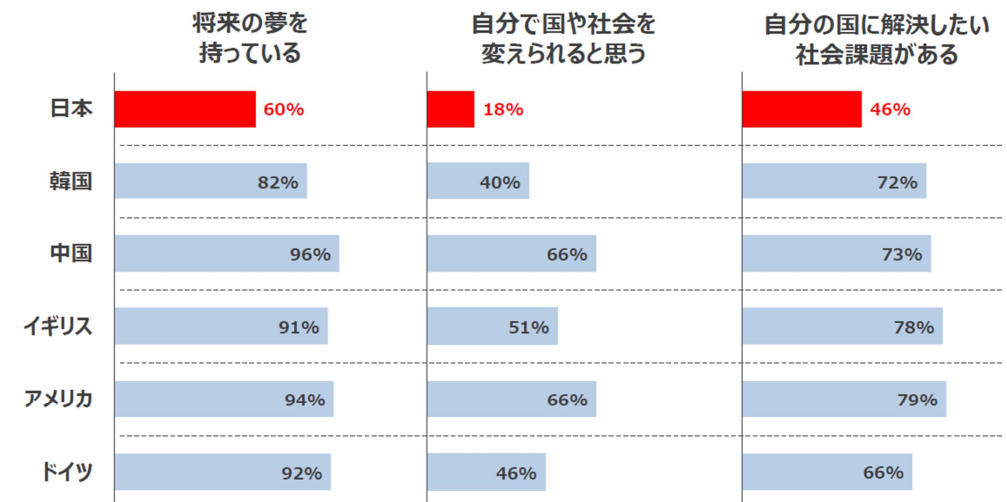
2015年		2050年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14	問題発見力	1.52
責任感・まじめさ	1.13	的確な予測	1.25
信頼感・誠実さ	1.12	革新性※	1.19
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11	的確な決定	1.12
スピード	1.10	情報収集	1.11
柔軟性	1.10	客観視	1.11
社会常識・マナー	1.10	コンピュータスキル	1.09
粘り強さ	1.09	言語スキル：口頭	1.08
基盤スキル※	1.09	科学・技術	1.07
意欲積極性	1.09	柔軟性	1.07
⋮	⋮	⋮	⋮

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル

※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

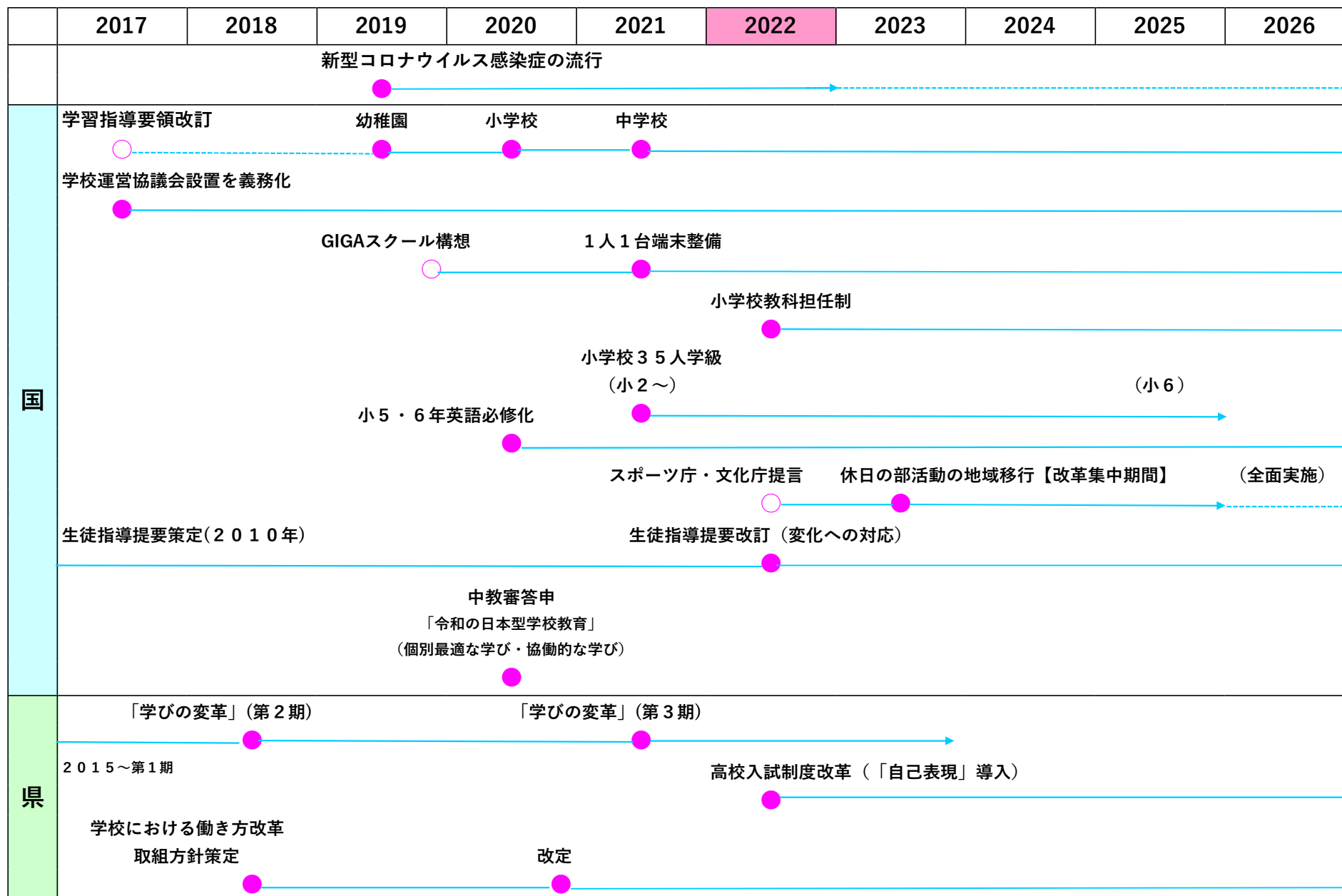
出典：2015年は労働政策研究・研修機構「職務構造に関する研究Ⅱ」、2050年は同研究に加えて、World Economic Forum “The future of jobs report 2020”, Hasan Bakhshi et al., “The future of skills: Employment in 2030”等を基に、経済産業省が能力等の需要の伸びを推計

○ 日本の18歳の「社会への当事者意識」

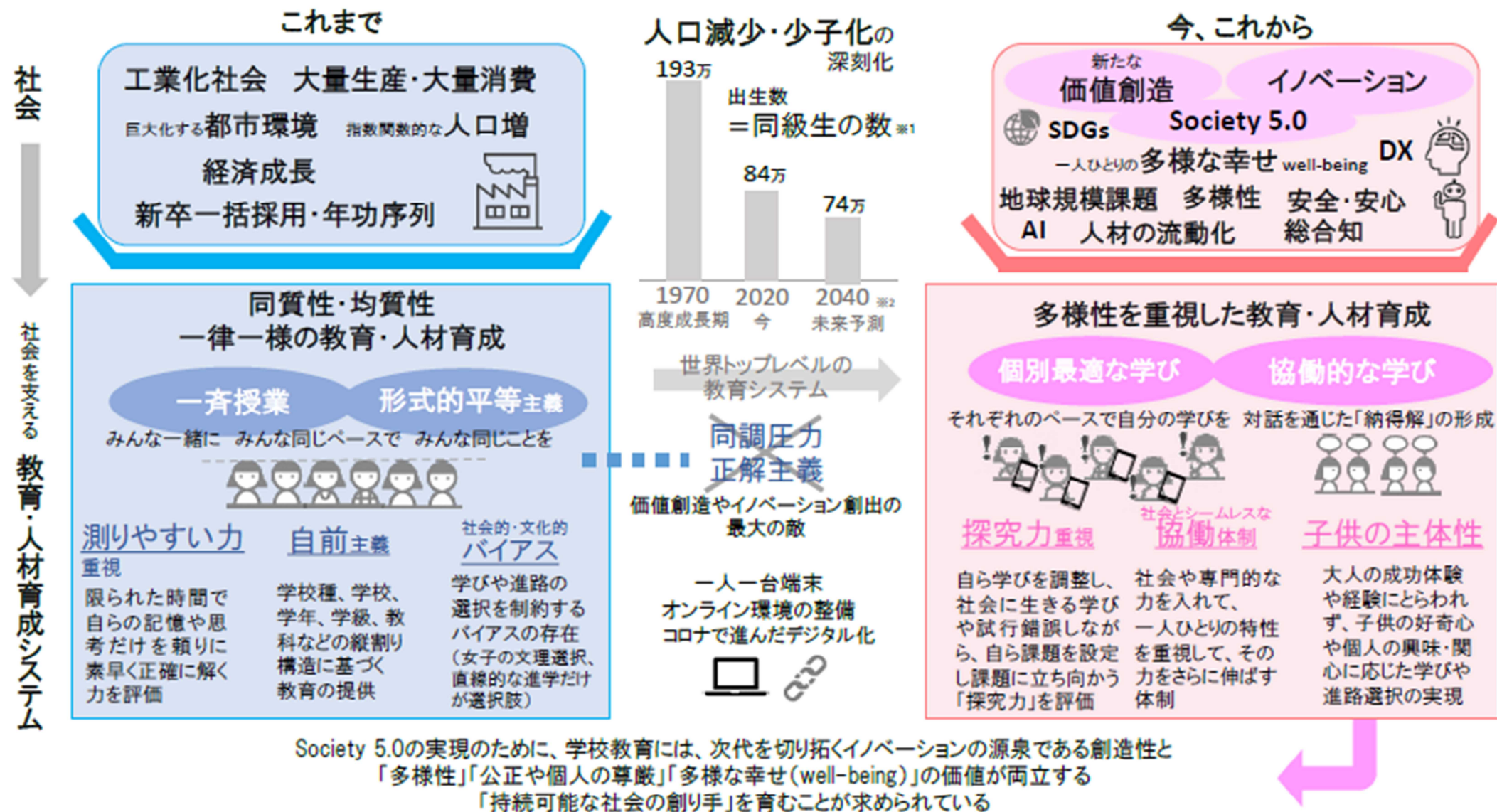


出典：日本財団「18代意識調査 第20回（国や社会に対する意識）」（2019年）を基に経済産業省が作成

2. 国や県の教育改革



3. 教育・人材育成システムの転換の方向性



出典：2022年6月2日総合科学技術・イノベーション会議 Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ

4. 教室の中にある多様性

教室の中にある多様性

小学校35人学級の場合

特異な才能の
ある子供

0.8人
(2.3%)

発達障害の
可能性のある子供

2.7人
(7.7%)

不登校

0.4人
(1.0%)

不登校
傾向

4.1人
(11.8%)



家にある本の冊数が
少なく学力の低い
傾向が見られる子供

10.4人
(29.8%)

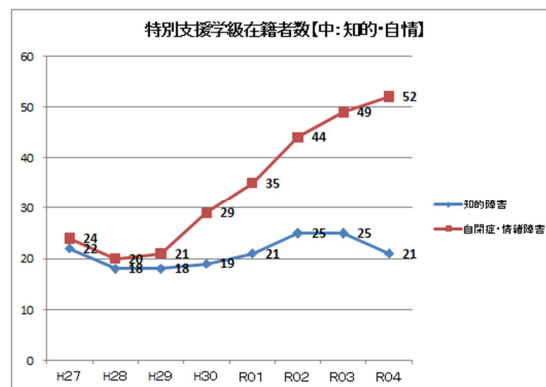
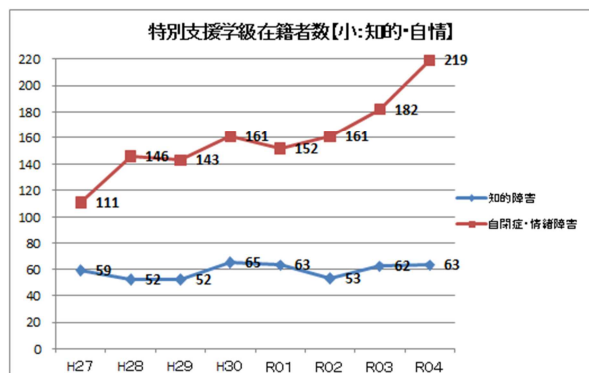
日本語を家で
あまり話さない子供

1.0人
(2.9%)

出典：2022年6月2日総合科学技術・イノベーション会議 Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ

5. 廿日市市の児童生徒の状況

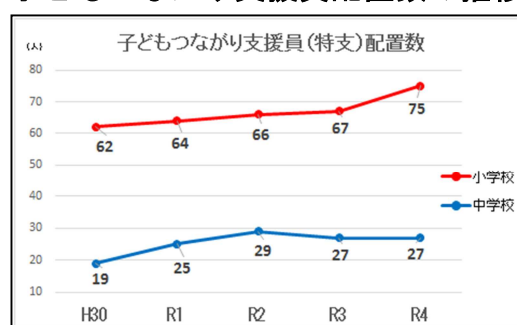
○ 特別支援学級在籍児童・生徒の推移



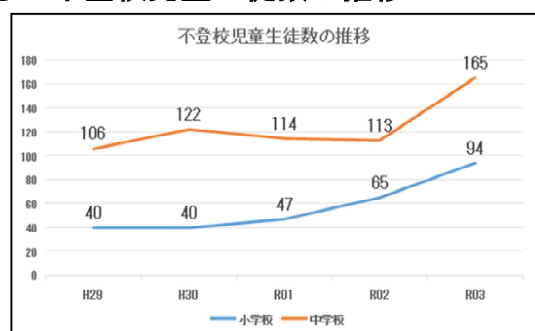
○ 通級指導教室に入室する児童の推移



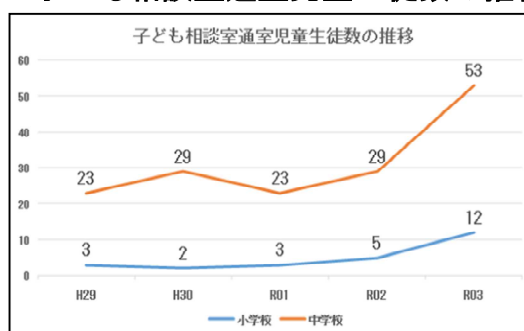
○ 子どもつながり支援員配置数の推移



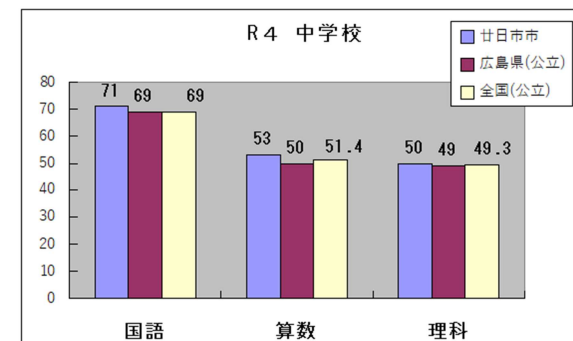
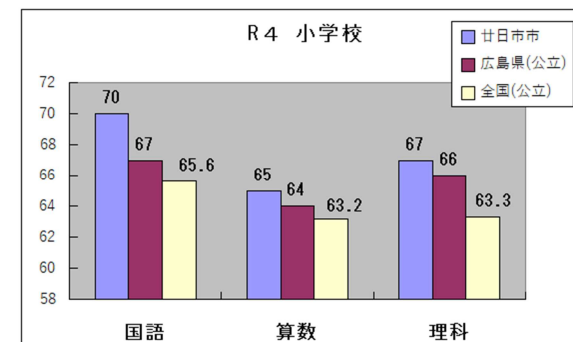
○ 不登校児童生徒数の推移



○ 子ども相談室通室児童生徒数の推移



○ 令和4年度全国学力・学習状況調査



○ 日本語指導を受けている児童生徒数

<令和4年度>

・小学校 11人 ・中学校 4人 計 15人

○ 要保護・準要保護認定者数

<令和4年度> 小中全体 18.65%

	要保護	準要保護	認定率
小学校	41	1065	17.34%
中学校	24	583	21.61%